

電子化媒体活用促進業務（LINE グループ立上げ・スマホの使い方講座など）の実施について

1 デジタルツールの導入に関する試行的な取組（令和2年度）

（1）取組概要

- ・デジタルツール導入支援を希望する町内会・自治会に対して、規模や会員間のデジタル知識の偏りなどの諸事情を踏まえ、業者委託により専門的な見地からのアドバイスや支援を実施
- ・支援の場面では、単なるツールの使い方の解説や型通りの講習会ではなく、2～3名の参加者に対し1名のスタッフを配し、参加者ひとり一人が自分のペースで学べる工夫を行いました。

（2）取組の成果

- ・それぞれの会のニーズに応じた支援を行ったことで、スマートフォンやLINE、ZOOMなどの具体的なマニュアルの作成につながりました。

（3）対象団体および支援内容

●浜町3丁目町内会（約500世帯） 普段行っている地域教育会議をZOOMで実施できるよう、実際の参加者に集まっていたとき、レクチャーを行いました。 	●新百合ヶ丘自治会（約950世帯）  自治会内のパソコンクラブの会員を対象にLINEの使い方を学んでいただくとともに、LINEグループへの登録を同時に行いました。
●柿生駅前町内会（約700世帯） 役員同士の情報共有のため、LINEの使い方を学んでいただくとともに、LINEグループへの登録を同時に行いました。 	●河原町2号館自治会（約700世帯） 会員対象のスマートフォン講座を行い、事前アンケートで希望の多かった地図アプリ、LINE、料理レシピの使い方を学んでいただきました。 
●栗平白鳥自治会（約800世帯）  ホームページ作成に向けた相談や情報提供を行いました。	●上丸子住宅自治会（約80世帯） 会員同士の情報共有のため、LINEの使い方を学んでいただくとともに、LINEグループへの登録を同時に行いました。 
●マイシティ新ゆり町内会（約750世帯） ホームページ作成に向けた相談や情報提供を行いました。 ※勉強会等は実施しなかったため、写真はありません。	

（4）神奈川県との連携

- ・県が主催する「コミュニティ再生・活性化モデル事業」を活用し、Zoomの使い方スマホの使い方講座などの支援も併せて行いました。

2 令和3年度の取組

(1) 取組概要

- ・令和3年度は、広く普及している情報通信アプリ「LINE」について、前年度の成果物であるLINE 体験講習マニュアルを用いて業者委託により講習会を実施。

(2) 取組の成果

- ・LINE に注力し、各町内会・自治会の現状や活用の目的、希望する支援内容をヒアリングの上、それぞれの導入レベルに応じた講習会を実施することで、全体的な知識の底上げを支援することができました。

(3) 対象団体および支援内容

●木月4丁目共和会（約 2700 世帯） 理事の連絡網としての活用に向けて、LINE アプリをインストールし、グループトークを実践しました。 	●神地町内会（約 2200 世帯） 役員の連絡網としての活用に向けて、グループトーク、友だち追加、写真の送信等を実践し、質疑応答を通じてLINE への理解を深めました。 
●下麻生自治会（1150 世帯） 役員の連絡網としての活用に向けて、グループトーク、友だちの追加等を実践し、質疑応答を通じてLINE への理解を深めました。 	●坂戸日商自治会（約 350 世帯） 情報共有や一斉連絡に活用するため、グループトーク等の機能に加え、ノートやアルバム等の便利な機能を学びました。 
●三井細山自治会（約 600 世帯） 情報共有とデータ保存におけるデジタルツールの積極的な活用に向けて、LINE WORKS の解説や活用事例をデジタルツールに精通した2名の方に対して紹介しました。 	●河原町2号館自治会（約 700 世帯） 役員間の連絡網としてLINE を活用したいが、難しいのが実情。昨年度に引き続き、メンバーを増やして講座を実施しました。 
●渡田新町1・2丁目町内会（約 650 世帯） LINE に習熟している役員幹部にLINE WORKS 等を簡単にレクチャー。基礎編も併せて実施し、全体的な知識の底上げを図りました。 	●飯室谷町会（約 330 世帯） 役員の連絡網として使うことを目指し、この講座をはじめの1 歩とするため、グループトークに加え、ノートやアルバム等の便利な機能を学びました。 

(4) 神奈川県との連携

- ・本市独自の支援策だけではなく、県が主催する「コミュニティ再生・活性化モデル事業」を活用し、13 団体がスマホ教室を受講しました。